

石川朝臣広成の歌一首

六九六番

家人いへびとに 恋こひ過すぎめやも かはづ鳴なく 泉いづみの里さとに
年としの経へぬれば

おほどものすくねかたみ
大伴宿禰像見の歌三首

六九七番

我わが聞ききに かけな言いひそ 刈かり薦こもの 乱みだれて
思おもふ 君きみがただかそ

六九八番

春日かすが野のに 朝あさ居ある雲くもの しくしくに 我あは恋こひまさ
る 月つきに日ひに異けに

六九九番

一瀬ひとせには 千度障ちたびさはらひ 行ゆく水みずの 後のちにも逢あはむ
今いまにあらずとも